

久留米

市議会だより

第153号

平成22年 1月15日発行

編集・発行

久留米市議会事務局

久留米市城南町15番地3

電話 0942 (30) 9305

年頭のごあいさつ



副議長
原口 新五



議長
栗原 伸夫

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆様のご健勝とご多幸を心から
祈ります。

昨年は、病氣療養中だった江藤市長の
辞職という大変残念な出来事で一年を終
えました。一日も早く回復されますこと
をお祈りしております。

まもなく選挙が行われ、新しい市長が
誕生します。新市長は就任早々、本市が
抱える多くの課題に直面することになり
ます。30万市民のことを考えると、迅速
で的確な対応が期待されるところです。
市議会としては、新市長と力を合わせて
また、意見を戦わせながら、久留米市が
市民の笑顔であふれるまち
となるよう努力していく所
存です。

皆様のより一層のご支援
ご協力を、心からお願い申
上げます。



心 願



寒さなんかけっとばせ！（リトルキッカーズの初蹴り）

決算審査特別委員会報告(9/25〜10/5)

平成20年度一般会計と15の特別会計及び2企業会計の各決算について、審査の結果を報告します。

《一般会計・特別会計》

一般会計と特別会計の歳入決算総額は2042億2310万円、歳出総額は1982億3467万円、黒字決算となりましたが、財源不足を補うために、主要4基金など16億3千万円を取り崩す状況で、次年度以降も引き続き留意する必要があります。経常収支比率も95・4％と前年度の95・9％よりわずかに改善していますが、危機的な状況に変わりはなく、弾力性のある財政構造へのさらなる取り組みが不可欠であります。

《企業会計》

〈水道事業会計〉前年度に比べ、総収益は給水収益等の減により、また、総費用は人件費の減等により、いずれも減少しました。その結果、収益的収支は総収益45億8745万円に対し、総費用39億74

38万円で、純利益6億1307万円の黒字となりました。〈ガス事業会計〉総収益はガス工場跡地売却益が計上され、総費用は天然ガス導入に要した開発費の繰延勘定償却が終了した結果、総収益38億3371万円、総費用34億7928万円で前年度までの損失から転じて純利益3億5442万円の黒字となりました。21年4月に新会社へ事業譲渡されガス事業会計は終了しましたが、21年度に清算のための特別会計が設置されています。

《主な質疑の内容》

○職員研修

委員より、職員研修について質疑があり、市長職務代理者より「職員の業務に関する自己研さんを促し集合研修を充実させたい。また上司の指導も重要であるので、管理監督者の意識向上と指導能力開発の研修の強化も図っていききたい。接遇の向上を目指したマナーアップ運動の徹底も行い、全体の奉仕者として市民志向の意識で業務を遂行して

いくよつ指導をしていきたい」との答弁がありました。

○協働の仕組みづくり

委員より、協働の仕組みづくりについて質疑があり、市長職務代理者より「市民と行政の協働をさらに推進するため、基本構想や基本計画に掲げる協働の考え方を明確化し、全庁的に共有化するとともに、推進体制やシステム、ルール等の検討が必要と認識し、総合計画の総括を行う企画財政部を中心に関係部局で整理を進めてきた。議会、市民の皆様の意見をどう反映させていくか、今までの反省を踏まえて早急に整理したい」との答弁がありました。

○賢順記念全国箏曲祭

委員より、賢順記念全国箏曲祭の今後のあり方について質疑があり、市長職務代理者より「組織・財政基盤の確立のため見直しを進めてきている。久留米児童合唱団と地元箏曲家とのコラボレーションや一流箏曲家による演奏を実施したが、市民への浸透は不十分であったと認識している。課題や問題点を検証し、市民に理解される箏曲祭のあり方について見直しを進めたい」との答弁がありました。

《主な要望》

総務費 市民会館建てかえの向きの検討。校区コミュニティづくりの活性化を促す行政側からのモデル案の提示。民生費 ブックスタート事業の参加率向上策の検討。病児・病後児保育施設のニーズ調査と新規設置場所の検討。

衛生費 より受診しやすい健診体制の確立。高度医療福祉都市の実現に向けた早急な取り組み。

労働費 緊急雇用相談窓口のさらなる充実。職業訓練修了者への就職支援体制の整備。農林水産業費 高収益型園芸産地育成事業の一層の推進。商工費 九州新幹線開業を見据えた集客効果のある観光施策の推進。実効性ある中小企業への融資施策のさらなる推進。

土木費 国の補助を活用した市営住宅へのエレベーター設置検討。放置自転車禁止条例のより厳しい適用。

教育費 全国学力テストの平均点が全国平均を上回るよう学力向上に向けた取り組みの実施。スクールソーシャルワーカーの全中学校配置の検討。

議会日誌

11月27日 本会議

会期の決定(18日間)、諸般の報告、決算審査特別委員会審査の報告・審議採決、提案説明、第136号議案の質疑・付託、常任委員会議案審査の報告・審議採決

12月2日 本会議

一般質問

4日 本会議

一般質問、議案の付託

7日 本会議

一般質問、議案の付託

8日 常任委員会

(教育民生・建設) 議案・請願の審査

9日 常任委員会

(経済・総務) 議案の審査

14日 本会議

諸般の報告、各常任委員会議案審査の報告・審議採決、請願等の閉会中の審査付託、追加議案(人事)の提案説明・審議採決、議員派遣の決定

次の市議会定例会の開催予定は、2月下旬です。

市政に対する 一般質問

13人の議員が市政全般について質問を行いました。
主な内容は次のとおりです。

緊急経済対策で 地元業者に仕事を

問

深刻化する不況で仕事がなく、小規模建設業者が悲鳴をあげている。地元中小零細業者への公共工事の発注の仕方について、現状と今後の考え方を伺いたい。また、緊急経済対策として、住宅リフォームへの助成制度を創設する考えはないか。

答

工事並びに物品調達発注を原則としている。工事の種別ごとに分離したり、工事区域を分割するなどして、



着々と建設が進む北野複合施設

問

北野複合施設の活用は

受注機会の確保に努めている。今後も積極的に進めていきたい。また、住宅リフォームについては、これまではバリアフリー化や環境対策を目的とした助成を行ってきたが、工事的に限定しないリフォーム助成については課題もあるので、今後研究を進めていきたい。

答

合併を機に、北野町に図書館、健康福祉センターの機能を持つ複合施設が平成22年4月にオープンする。市民サービス、まちづくりの拠点として、活性化にどう生かすのか伺いたい。

答

本施設は、地域住民の要望が強かった保健センターと図書館のほか、地域包括支援センターを附置している。北野地域のみならず、近隣からの利用も想定し、交流機能を備えている。利用者の自主的活動を支援していくなど、満足度を向上させる取り組み

くるめエコ・パートナーの状況と 今後の展開は

みを行い、施設が活性化すれば、文化的にも健康づくりの面でも豊かな生活環境が整った地域となり、発展につながるものと考ええる。

問

市民・事業

所・行政が協働して温暖化防止に取り組む「くるめエコ・パートナー」制度がスタートした。マイバッグ使用などのエコ活動を実践する「市民会員」と、それを応援する「事業所会員」で構成される。制度の実施状況及び今後の展開について伺いたい。

答

市民会員として6733人がエコ活動に取り組むとともに、割引特典提供などエコ活動応援事業所が151店舗となっている。この制度は、一人一人が地球温暖化問題の解決に向けて日常的に取り組むを始める第一歩であると考ええる。今後も制度の周知を図り、会員への登録を呼びかけるとともに、取り組みによる効果や実践事例を



あなたもエコ・パートナーになりませんか

問

平成21年度の 財政運営の見通しは

紹介し、活動の実践につなげていきたい。

答

景気の悪化に伴い、市の財政は、個人・法人市民税の減少、法人市民税過年度還付金の増加、扶助費の大幅な伸びなど、懸念材料が揃っている。このような状況から、基金取り崩しになるのではないかと心配している。21年度の財政運営の見通しを伺いたい。

11月上旬に再度本年度の決算見込みを積算した。主要な一般財源である市税と地方交付税で当初財政計画と比べて2・3億円の増

を、歳出の義務的経費は2・1億円の減を見込み、結果、4・4億円の収支好転見込みである。一方で、法人市民税過年度還付金、当初計画の1億円に対し4・5億円と大幅に上回る見込みである。また、主要4基金取り崩しゼロの目標達成は、可能ではないかと考えている。

高良内埋立地の教訓は

問

高良内埋立地は、完
成に十数年かかり、住
民との混乱や住民同士の対立
を生み出した。ごみ問題は、
行政と住民が対立する問題で
はなく、知恵や力を出
し合えば、いろいろな
やり方が出てくる。新
中間処理施設を宮ノ陣
町八丁島地区に建設す
るにあたり、高良内埋
立地の教訓をどのよう
に生かしているのか。

答

このような施
設の建設につい
ては、地域や関係団体
の多くの方の御理解を
いただくよう、一層の
努力を行うことが大切
であるとの基本的な認



市場に出荷された植木・苗木

問

久留米市の植木・苗
木の生産・販売は全国
第一位であるが、消費者のニ
ーズの変化や公共事業の減少な
どにより取扱量が減少してき
た。植木・苗木振興策の現状

植木・苗木の振興策は

識をしている。新中間処理施
設建設については、計画時点
で法的要件等の課題の精査や
関係機関等との調整を密に十
分な事前対応を行い、また、
地元である八丁島地区の方々
と十分な協議を行いながら、
事業を進めていくつもりであ
る。

▶付託議案14件

主な議案の内容と審査結果

▷一般会計補正予算（情報通信ネットワ
ーク整備委託料13億1,324万円など）

▷特別職及び職員給与条例の一部改正（給
与の一部引き下げ）

▷久留米広域定住自立圏の形成に関する協
定の締結（大川市・小郡市・うきは市・大
刀洗町・大木町）

▷町の区域の指定（花畑一・二・三丁目）

▷指定管理者の指定（市民交流センター・
市民センター多目的棟）

各議案とも審査の結果、承認または原案
のとおり可決



総務常任委員会

石橋	吉田	藤林	川地	塚本	堀	森	秋吉	八尋	原口
剛	帰命	詠子	東洋男	篤行	陽一郎	多二郎	政敏	義伸	新五



教育民生常任委員会

▶付託議案18件、請願2件

主な議案の内容と審査結果

▷一般会計補正予算（白峯保育園改築事業
3億5,033万円、生活保護費3億1,354万円、
養護学校校舎増設事業11億9,534万円、
荘島体育館改築事業10億6,014万円など）

▷指定管理者の指定（三瀬総合福祉センター、
北野老人いこいの家など）

▷財産の取得（城島総合グラウンド用地、
学校デジタルテレビ・パソコン・電子黒板）

▷北野複合施設条例（保健センター、図書館）

各議案とも審査の結果、原案のとおり可
決

田中	本村	永松	佐藤	原口	堀田	石橋	寺崎	大熊	甲斐
功一	英幸	千枝	晶二	和人	富子	力	いわお	博文	征七生

と今後の取り組みについてお尋ねしたい。

答

本市では、植木・苗木振興のための普及宣伝活動や関係団体等へのイベント支援等を行っている。特に、「国際ツバキ会議」等の開催を契機に、ツツジ・ツバキを初めとする植木・苗木の一大産地である本市の情報を国内及び世界に向けて発信している。今後、今年度実施した生産流通実態調査の結果や生産者団体等との意見交換会での意見を参考に、具体的な振興策について検討していきたい。

都市計画決定公園の整備は

問

昭和37年に計画された都市計画決定公園105カ所のうち、13カ所が47年経過した現在でも未整備のままである。本市の都市戦略としての公園整備の方針について考えを伺いたい。

答

本市では、これまで大規模公園を重点的に整備を進めているが、財政的な課題もあり、13カ所・約95haの都市計画公園については長期にわたり整備ができてい

所管事項 議会の運営に関する事項

議長 ◎
副議長 ○

山口善明	甲斐田義弘	江頭幹雄	堀田富子	川地東洋男	新山正英	原口新五	栗原伸夫	佐藤晶二	秋吉政敏	田中功一	市川廣二	山村太二
------	-------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------



議会運営委員会

▶付託議案12件

主な議案の内容と審査結果

- ▷中央卸売市場事業特別会計補正予算（水産物部卸売場屋根改修8,516万円）
- ▷訴えの提起（山川町浦田ため池及び神ノ園ため池の所有権移転登記手続請求）
- ▷指定管理者の指定（草野歴史資料館、山辺道文化館）
- ▷土づくり広場条例（安武町武島に設置）
- ▷つつじ・つばきの里吉木ポケットパーク条例（草野町吉木に設置）

各議案とも審査の結果、承認または原案のとおり可決



経済常任委員会

山村太二	江口善明	坂本よう子	永田一伸	○田中良介	◎石井俊一	江頭幹雄	新山正英	青柳雅博	吉住恵美子
------	------	-------	------	-------	-------	------	------	------	-------



建設常任委員会

▶付託議案9件

主な議案の内容と審査結果

- ▷一般会計補正予算（九州新幹線地元負担金1億6,887万円、中心市街地再整備事業（旧六ツ門プラザビル）5億4,158万円、広域消防車両購入負担金2億3,288万円）
- ▷財産の取得（津福公園用地）
- ▷訴えの提起（市営住宅の明渡し等請求）
- ▷市道路線の廃止・認定
- ▷消防団条例の一部改正（久留米市、田主丸、北野、城島、三瀬各消防団の再編統合）
- ▷法定外公共物管理条例

各議案とも審査の結果、原案のとおり可決

今村敏勝	秋吉秀子	坂井政樹	甲斐田義弘	井口正美	○後藤敬介	◎別府好幸	田中多門	上野健三郎	金丸憲市	市川廣一
------	------	------	-------	------	-------	-------	------	-------	------	------

ない。先進自治体の事例を踏まえ調査研究し、国の動向等を注視するとともに、必要に応じて都市計画公園の見直しにも取り組みながら整備を進めたい。

人口の減少をとめるには

問

中核市となった本市の人口は、5年前より減少に転じている。久留米が将来も安定持続できるためにどう備えるのか、ビジョンを示す時期が来ている。今目指すべきものは、自治体経営の重要な財政基盤の一つ、住民の数を持続可能なものにするのだと思う。本市の人口減少対策について伺いたい。

答

日本全体として人口減少社会に入らる中で、これからは都市戦略として、地域独自の魅力をさらに磨き、内外に認知してもらうことがきわめて重要になると認識している。本市は、自然環境、食文化、芸術文化、医療環境や子育て環境などの資源を数多く有



まちなかを流れる池町川

問

まちなかのにぎわいづくりの取り組みとして、城下町を生かした歴史を学びながら楽しめる仕組みづくりをすべきだと思う。そこで、池町川沿いに城下町時代の両替町や呉服町の名称を復活し、「久留米酒蔵屋敷」「久留米ラーメン長屋」を整備して、「池町川街道」をつくる考えはないか。

「まちなか」ににぎわいと活力を

答

歴史を学びながら楽しく散策できる「まちなか観光」を推進するために、観光案内のサイン整備を今年度より進めている。一過性でなく地域に根づいた名所をつくるためには、歴史、文化、資源を十分に掘り下げることが必要であると考えている。地道な作業と、何よりも地元を初め関係者の方々の思い入れの深さを通して、必要性が判断されるものと考えている。

学校給食の無償化の実施を

問

本市の小中学生の約2割が、経済的な理由により就学援助制度による給食費の援助を受けている。また、滞納率も0・5%である。憲法第26条には、義務教育無償がうたわれている。給食費の無償化を国に働きかけるとともに、市でも無償化を検討すべきではないか。

答

学校給食は、教育活動の一環として実施しており、生きた教材として食育推進の中心的な役割を担っている。経費について、学校給食法では、運営経費は設置者である市の負担、食材費は



給食の調理風景 (田主丸学校給食共同調理場)

入促進の対策について伺いたい。

答

平成21年4月現在の旧市の自治会加入率は76・2%となっており、毎年減少している。自治会は地域課題解決に重要な組織であり、協働のまちづくりを進めていく上で、住民の参加は大きな課題である。市としては、転入者への市民便利帳やパンフレット等の配布で加入促進に取り組んでいる。今後、転入時に自治会活動を案内する取り組みについて、具体的な検討を進めていきたい。

優良農地の確保は

問

平成17年の統計調査によれば、市内の経営耕地面積は8328haで10年前に比べて795haの減少、一方で遊休農地、耕作放棄地は5年間で124ha増加している。市は農地が年々減少している現状の中で、将来における食料の安定供給等を考慮し、どのようにして農地を確保していくのか。

自治会加入の促進を

問

旧市27校区に校区まちづくり協議会が発足した。校区まちづくりの活発な運営は、自治会活動の発展なくしてはできない。その自治会の加入率がかなり減少傾向にあるが、現状と課題、加

答

農地・農道・農業用排水路などの農業生産基盤整備とともに、集落営農組織等に農地を集積させ、農業生産規模拡大による農地の高度利用、生産効率の向上を進め、持続的な農業経営の確立を目指している。さまざまな事業展開や農地関連法の適切な運用によって、優良農地を確保し、将来における食料供給の確保、多面的機能の維持に努めていきたい。

**旧4町地域の
校区コミュニティへの移行は**

問

旧4町地域では、行政長制度から、校区コミュニティ組織の設立に向けた取り組みが進められている。住民への不安解消のため、丁寧な説明が必要である。今後のスケジュールはどのようなになっているのか。また、組織が立ち上がるまで、どのような支援を行うのか。

答

それぞれの地域に校区検討会や地域連絡会が設立され、校区コミュニティの役割や必要性等について、調査・検討が進められている。22年3月上旬に校区住民説明会の開催、22年度中に準備会

への移行、23年度当初に設立というスケジュールを示している。行政支援については、来年度も各校区単位の準備会に対し、事務局経費等の諸経費の財政支援や組織づくりにおける留意事項等の情報支援など、校区コミュニティの取り組みが円滑に進むよう有効な支援を行っていきたい。

第6回市議会（臨時会）

12月24日、臨時議会が招集されました。提案された一般会計補正予算議案（市長選挙実施に伴うもの）について、総務常任委員会が審査の後、本会議で可決しました。
また、当日追加提案された市長職務代理人退職申し出を承認しました。

常任・特別委員会の活動状況（開会中）

総務常任委員会

▼10月26日
所管事務調査「入札・契約制度について」

▼11月19日
所管事務調査「久留米市情報化推進計画について」

教育民生常任委員会

▼10月22日
請願第3号「国の療養病床の廃止・削減計画の中止等を求めることについて」審査し、継続審査に

▼11月16日
所管事務調査「医療制度改革について」

経済常任委員会

▼10月28日・11月17日
所管事務調査「下水道事業について」

建設常任委員会

▼10月26日
所管事務調査「杉谷埋立地（第2処分場）建設事業について」

▼11月16日
所管事務調査「久留米市景観計画策定について」

行財政改革調査特別委員会

▼10月23日
市民との協働について

▼11月26日
（仮称）次期行政改革行動計画骨子案について

同意した人事案件

人権擁護委員

諏訪野町 空 閑 茂
上津一丁目 日 隈 美和子
田主丸町 小林 一成

固定資産評価審査委員会委員

上津町 大石 恵美子
善導寺町 高山 芳男

請願・陳情の提出について

市政についての希望や要望を市議会に申し出る制度として、請願・陳情があります。だれでも提出できますが、必ず文書で提出してください。請願については市議会議員1名以上の紹介が必要で、本会議に提出し、委員会が審査されます。陳情は委員会に送付し閲覧いたします。

記載事項

- ① 請願・陳情の趣旨は、簡単明瞭に記載してください。
- ② 提出者が個人の場合は住所・氏名、団体の場合は団体の所在地・名称・代表者名を記載し、押印してください。

様式例

平成 年 月 日

久留米市議会議長
〇〇〇〇 様

請願者 住所
氏名 印

〇〇〇〇に関する請願
（陳情）

（趣旨）
.....
.....
.....

紹介議員 氏 名 印
（陳情書には不要）

提出議案と審議結果

議案 番号	件 名	結果	議案 番号	件 名	結果
(第5回定例会)					
〔決算関係〕 18件					
認定 1	平成20年度久留米市一般会計決算の認定について	認定	104	大川市との久留米広域定住自立圏の形成に関する協定の締結について	可決
認定 2	平成20年度久留米市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	〃	105	小郡市との久留米広域定住自立圏の形成に関する協定の締結について	〃
認定 3	平成20年度久留米市競輪事業特別会計決算の認定について	〃	106	うきは市との久留米広域定住自立圏の形成に関する協定の締結について	〃
認定 4	平成20年度久留米市中央卸売市場事業特別会計決算の認定について	〃	107	大刀洗町との久留米広域定住自立圏の形成に関する協定の締結について	〃
認定 5	平成20年度久留米市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について	〃	108	大木町との久留米広域定住自立圏の形成に関する協定の締結について	〃
認定 6	平成20年度久留米市下水道事業特別会計決算の認定について	〃	109	町の区域の設定について	〃
認定 7	平成20年度久留米市市営駐車場事業特別会計決算の認定について	〃	110	久留米市民交流センターの指定管理者の指定について	〃
認定 8	平成20年度久留米市老人保健事業特別会計決算の認定について	〃	111	市民センター多目的棟の指定管理者の指定について	〃
認定 9	平成20年度久留米市介護保険事業特別会計決算の認定について	〃	112	福岡県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	〃
認定10	平成20年度久留米市簡易水道事業特別会計決算の認定について	〃	113	久留米市身体障害者福祉センター等の指定管理者の指定について	〃
認定11	平成20年度久留米市地方卸売市場事業特別会計決算の認定について	〃	114	久留米市知的障害者通所授産施設ちとせ園の指定管理者の指定について	〃
認定12	平成20年度久留米市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	〃	115	久留米市三潯総合福祉センターの指定管理者の指定について	〃
認定13	平成20年度久留米市特定地域生活排水処理事業特別会計決算の認定について	〃	116	久留米市田主丸老人福祉センターの指定管理者の指定について	〃
認定14	平成20年度久留米市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	〃	117	久留米市北野老人いこいの家の指定管理者の指定について	〃
認定15	平成20年度久留米市母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計決算の認定について	〃	118	財産（城島総合グラウンド整備事業用地）の取得について	〃
認定16	平成20年度久留米市産業団地整備事業特別会計決算の認定について	〃	119	財産（デジタルテレビ）の取得について	〃
認定17	平成20年度久留米市水道事業会計決算の認定について	〃	120	財産（デジタルテレビ）の取得について	〃
認定18	平成20年度久留米市ガス事業会計決算の認定について	〃	121	財産（デジタルテレビ）の取得について	〃
〔予算関係〕 3件			122	財産（デジタルテレビ）の取得について	〃
101	平成21年度久留米市一般会計補正予算（第4号）	可決	123	財産（デジタルテレビ）の取得について	〃
102	平成21年度久留米市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	〃	124	財産（パーソナルコンピュータ）の取得について	〃
103	平成21年度久留米市中央卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）	〃	125	財産（パーソナルコンピュータ）の取得について	〃
〔条例関係〕 11件			126	財産（電子黒板）の取得について	〃
136	久留米市市長及び副市長給与条例及び久留米市職員給与条例等の一部を改正する条例	可決	127	訴えの提起について	〃
137	久留米市職員退職手当支給条例及び久留米市特別職員退職手当支給条例の一部を改正する条例	〃	128	久留米市立草野歴史資料館の指定管理者の指定について	〃
138	久留米市非常勤職員等の公務災害補償等条例の一部を改正する条例	〃	129	山辺道文化館の指定管理者の指定について	〃
139	久留米市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	〃	130	久留米市公共下水道根幹施設の建設工事委託に関する協定書の一部を変更する協定書の締結について	〃
140	久留米市北野複合施設条例	〃	131	八女西部広域事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、八女西部広域事務組合の共同処理する事務の変更及び八女西部広域事務組合規約の変更について	〃
141	久留米市土づくり広場条例	〃	132	財産（都市計画公園事業津福公園用地）の取得について	〃
142	つつじ・つばきの里吉木ポケットパーク条例	〃	133	訴えの提起について	〃
143	久留米市中央卸売市場業務条例の一部を改正する条例	〃	134	市道路線の廃止について	〃
144	久留米市消防団条例の一部を改正する条例	〃	135	市道路線の認定について	〃
145	久留米市コミュニティ住宅条例の一部を改正する条例	〃	〔人事関係〕 2件		
146	久留米市法定外公共物管理条例	〃	147	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
〔一般関係〕 36件			148	久留米市固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃
97	交通事故による損害賠償の専決処分について	承認	(第6回臨時会)		
98	交通事故による和解契約締結の専決処分について	〃	〔予算関係〕 1件		
99	交通事故による和解契約締結の専決処分について	〃	149	平成21年度久留米市一般会計補正予算（第5号）	可決
100	排水枳破損事故による損害賠償の専決処分について	〃	〔人事関係〕 1件		
				市長職務代理者退職申し出の件	承認